



ゼロ災 2022 キャラクター
「ゼロ災ちゃん」



建設業における 労働災害発生状況

令和4年度 建設工事関係者連絡会議

令和4年7月22日（金）

1. 建設業の労働災害の現況
2. 死亡災害事例
3. 安全で適正な施工の確保
4. 法令改正：労働者以外の者に対する保護規制
5. ゼロ災チャレンジ2022

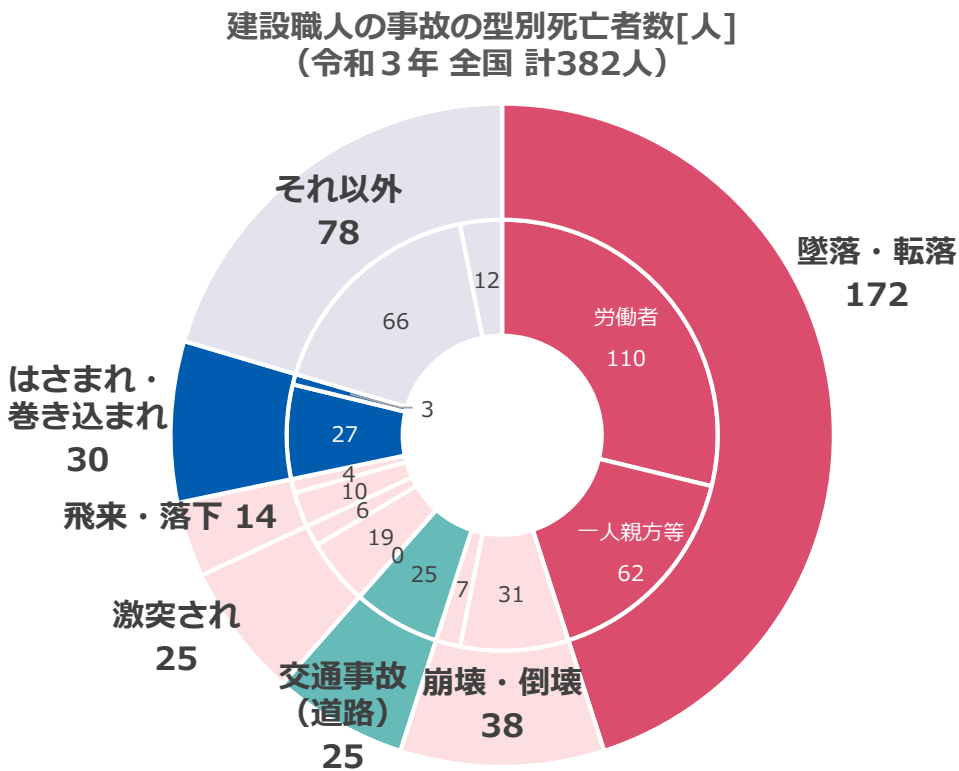
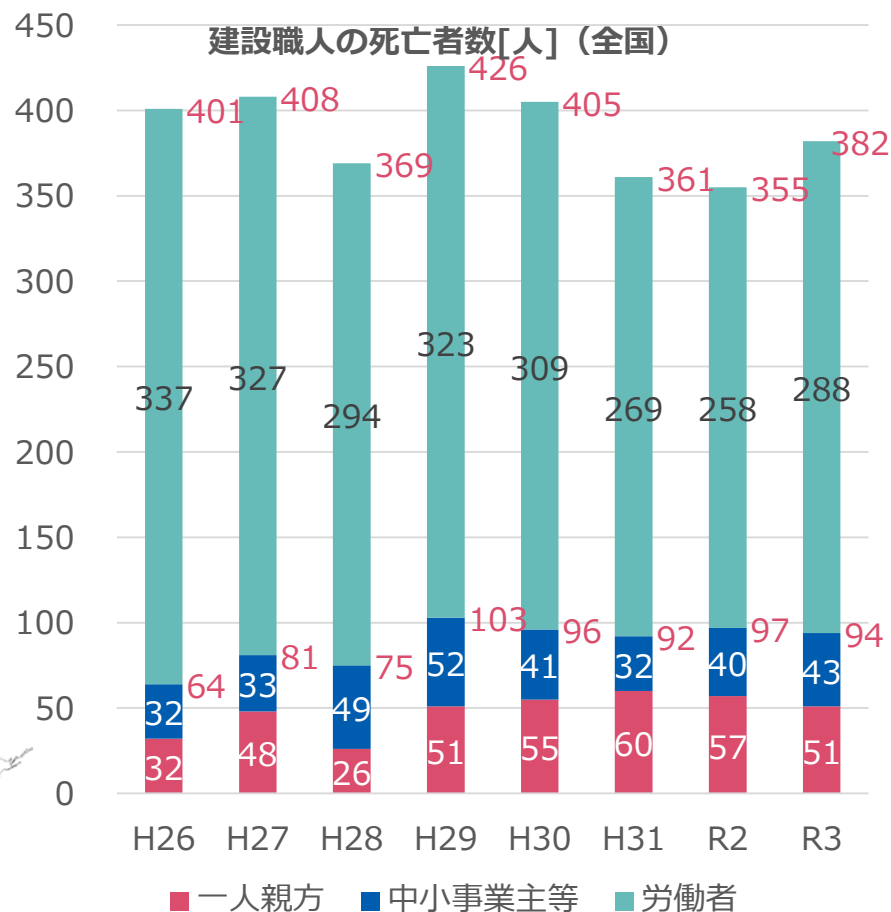
厚生労働省 岐阜労働局
岐阜労働基準監督署 安全衛生課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

建設工事従事者の年間死亡者数（全国）

令和3年における建設業の死亡労働者数は、全国で288人でした。

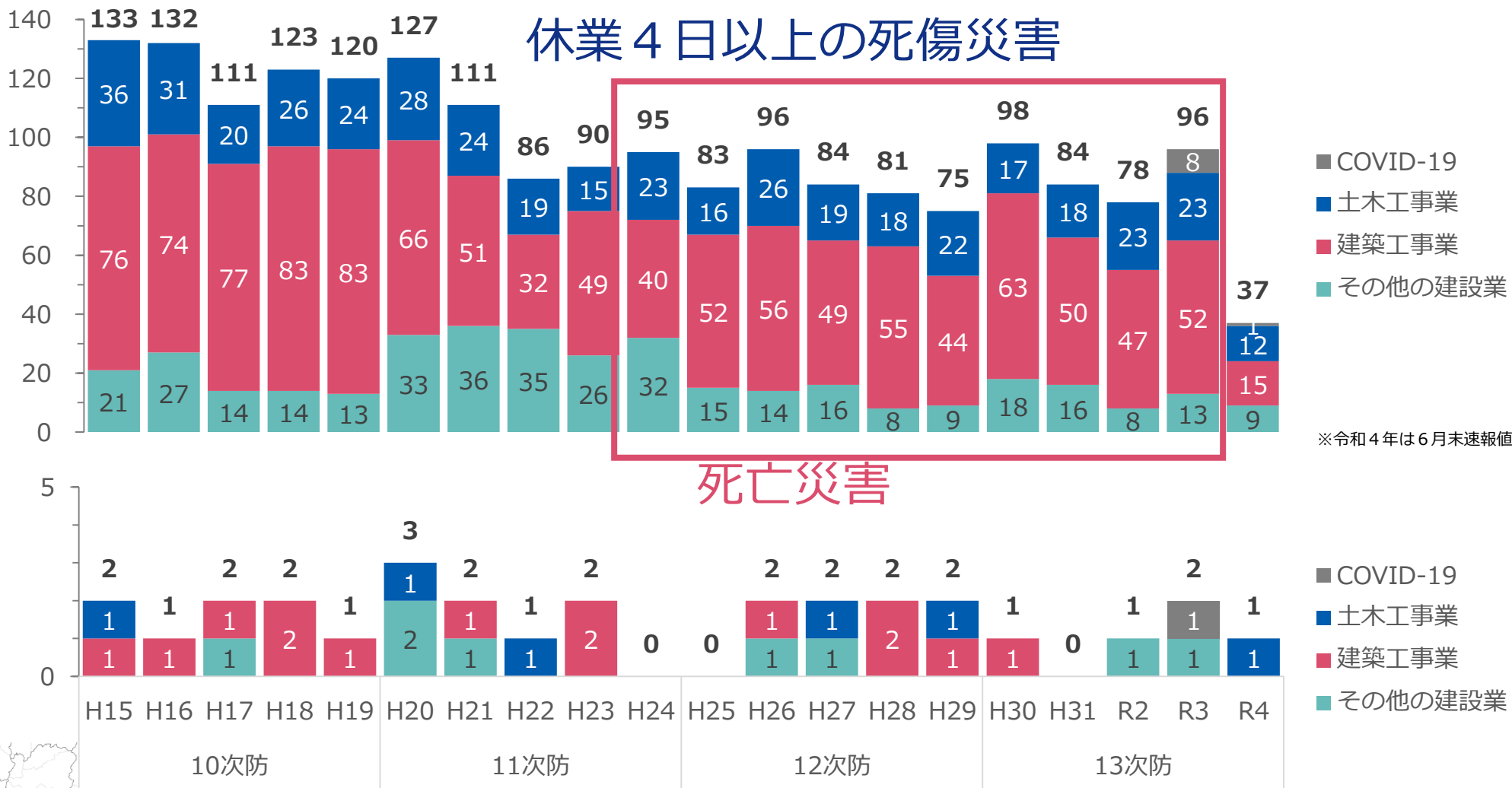
これに事業主や一人親方の死亡者数を加えた建設工事従事者（建設職人）全体の死亡者数は、全国で382人でした。



【死亡者数】死亡労働者数は死亡災害報告（厚生労働省の内部報告）による。
一人親方等の死亡者数は厚生労働省調べ。「職場のあんぜんサイト」参照。

労働災害発生状況の推移：休業4日以上之死傷災害/死亡災害（岐阜署）

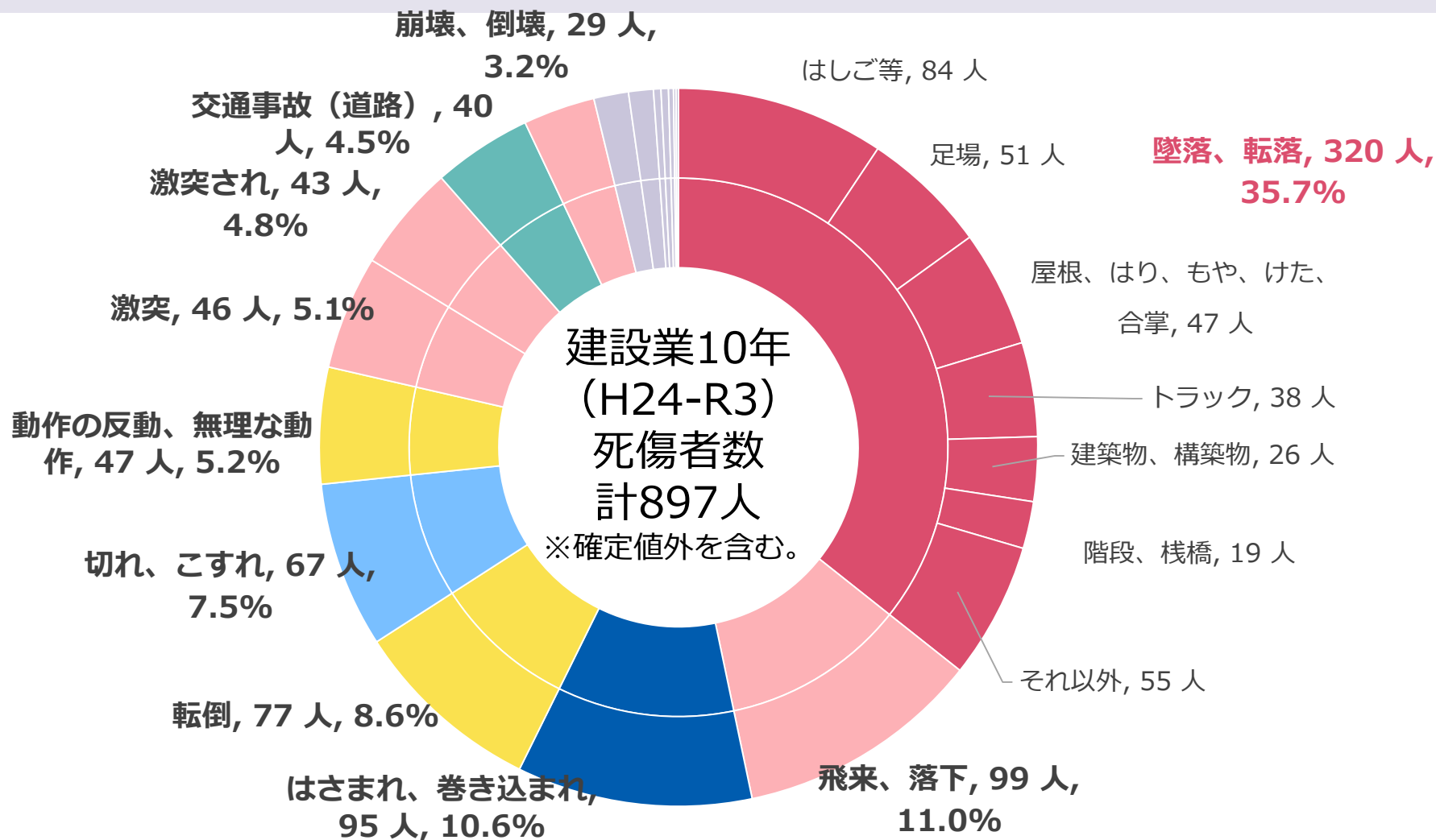
増減を繰り返しています。



上：休業4日以上之死傷災害、下：うち死亡災害。労働者死傷病報告ほかによる。新型コロナウイルス感染症によるものを含む。

建設業の労働災害の特徴：事故の型別（岐阜県）

「墜落・転落」で3割を占めます。

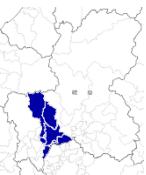
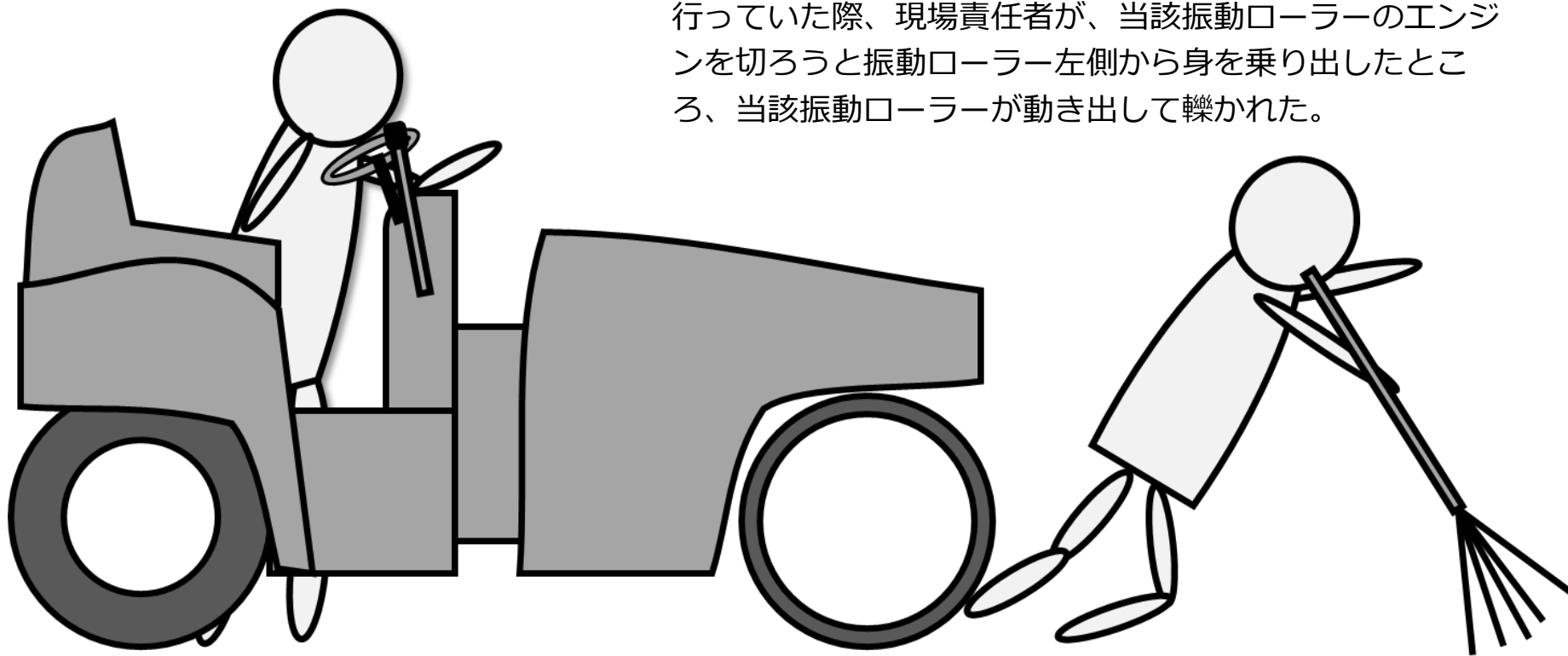


休業4日以上死傷災害（各年の1月から12月まで）。労働者死傷病報告による。新型コロナウイルス感染症によるものを含む。

5月の死亡災害（岐阜署）

ローラーに轢かれた。

下水道工事現場において、エンジンがかかった状態で停車中の振動ローラーの付近で被災者が片付け・清掃作業を行っていた際、現場責任者が、当該振動ローラーのエンジンを切ろうと振動ローラー左側から身を乗り出したところ、当該振動ローラーが動き出して轢かれた。



建設業の特徴と安全で適正な施工の確保

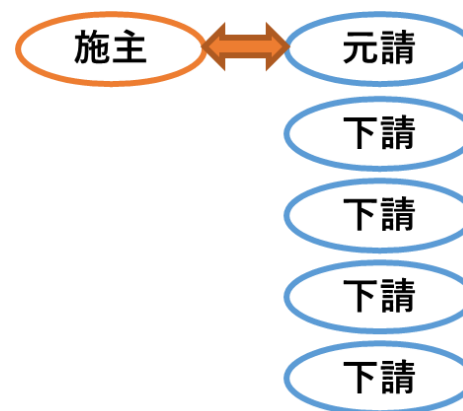
安全経費の確保など適切な発注をお願いします。また、適宜仕様書等の見直しをお願いします。

建設業の特徴

- **重層請負関係**
 - 責任の所在が不明確になりやすい
 - 1箇所にも多数の建設工事従事者 = 災害リスク増
- **重篤な労働災害が起きやすい**
 - 危険：大きなエネルギー、自然も相手
 - 有害：大量の有害物（粉じん、化学物質、etc.）
- **ヒトがコントロールできる領域が限られる（他業種に比べて）**
- **日々入場者と形状が変化する（毎日が違う現場）**

安全で適正な施工の確保

- **適正な発注・取引（工期・経費・石綿対策）**
 - 週休2日発注や長時間労働防止などの働き方改革を含む。
 - 建設工事計画届の14日ルールや機械等設置届の30日ルールの遵守（夏休みの外壁改修工事）。
 - 石綿事前調査結果報告の徹底（石綿調査済建築物、上下水道管等の地下埋設物）。
- **安全経費確保、賃金支払確保等**



国土交通省ウェブサイトから

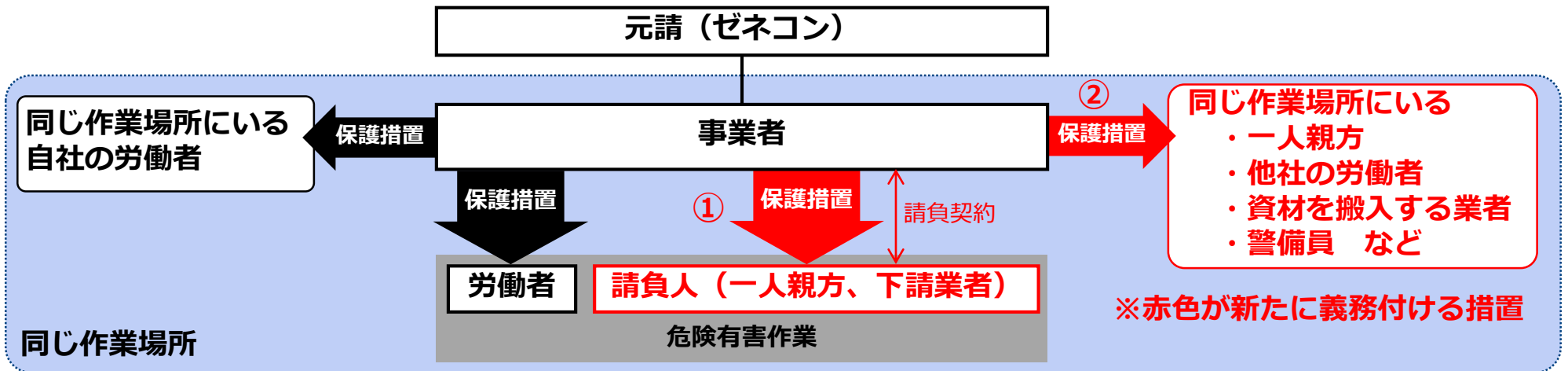
法令改正：労働者以外の者に対する保護規制（令和5年4月1日から）

「安衛法第22条は労働者と同じ場所で働く労働者でない者も保護する趣旨」とした最高裁の判決を踏まえた改正です。

危険有害な作業を行う事業者は、以下の措置を講じなければならないこととする。

- ① 労働者以外の者にも危険有害な作業を請け負わせる場合は、**請負人（一人親方、下請業者）に対しても、労働者と同等（※）の保護措置を実施すること。**
- ② 同じ**作業場所**にいる**労働者以外の者（他の作業を行っている一人親方や他社の労働者、資材搬入業者、警備員など、契約関係は問わない）**に対しても、**労働者と同等（※）の保護措置を実施すること。**

（※）事業者は、一人親方等に対して指揮命令関係にないことなどから、同一の措置は困難な場合、それに代わる措置を求めることとする。



- 安衛法第22条に基づいて規定されている**計11の省令（石綿障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則など）**を改正する。



ゼロ災チャレンジ2022（岐阜署）

期間中の災害ゼロに向けた取組を推進しています。

令和4年度 全国安全週間スローガン
「安全は 急がず焦らず怠らず」

岐阜労働基準監督署

ゼロ災チャレンジ 2022

令和4年 7月1日 ▶▶▶ 10月7日 参加申込締切 7月15日

労働災害が急増しています。岐阜労働基準監督署では、労働災害防止を図るため「ゼロ災チャレンジ2022」の参加企業を募集します。

令和3年は死傷者数・死亡者数ともに過去10年で最多（岐阜労働基準監督署管内）となりました。不安全行動による労働災害が多くを占めており、その要因として、コロナ禍により安全衛生活動が低調となったことが考えられます。このため、岐阜労働基準監督署では7～9月に集中的に労働災害防止に取り組む「ゼロ災チャレンジ2022」を実施します。職場の安全を守り、社員一人一人の安全に対する意識を高めるため、ゼロ災を目指して次の重点取組事項を実施しましょう。

概要

▶ FAXにより参加申し込みをし、次の重点取組事項を展開します。（詳細は裏面）

実施事項

重点取組事項	ゼロ災① 安全意識を高める
	安全研修・大会の開催やポスター等の掲示等
重点取組事項	ゼロ災② 危険な箇所・作業の洗い出しとその見直しをする
	危険の感受性を高め、安全パトロール、危険予知訓練、ヒヤリハットを実施する等
重点取組事項	ゼロ災③ 転倒災害、墜落災害、はさまれ・巻き込まれ災害を防ぐ

過去10年で最多

【死傷者数（全産業）】
※ 岐阜労働基準監督署管内

■ 死傷者数
● 死亡者数

令和2年 749
令和3年 906

死亡災害が多発
死亡者数 10

【事故の型別（全産業）】
※ 岐阜労働基準監督署管内
令和3年の死傷者数906人の内訳

転倒（189件） 21%
墜落・転落（155件） 17%
はさまれ・巻き込まれ（103件） 11%

（注）「死傷者数」は休業4日以上の死傷者数としています。

岐阜労働基準監督署 安全衛生課 申込詳細は裏面

令和4年度 全国安全週間スローガン
「安全は 急がず焦らず怠らず」

岐阜労働基準監督署

ゼロ災チャレンジ 2022

実施中 7月1日 ▶▶▶ 10月7日

労働災害が急増しています！
集中的に労働災害防止に取り組み、
ゼロ災をめざしましょう。

みんなであ
ゼロ災チャレンジ
ちー

ゼロ災ちーちゃん

ゼロ災2022キャラクター
「ゼロ災ちーちゃん」
作画：こばやしのかさん（小1）

重点取組事項

重点取組事項	ゼロ災① 安全意識を高める
	安全研修・大会の開催やポスター等の掲示等
重点取組事項	ゼロ災② 危険な箇所・作業の洗い出しとその見直しをする
	危険の感受性を高め、安全パトロール、危険予知訓練、ヒヤリハットを実施する等
重点取組事項	ゼロ災③ 転倒災害、墜落災害、はさまれ・巻き込まれ災害を防ぐ

厚生労働省